



校長室だより



「生活リズム」「自分の気持ち」「人のため」

式や朝会では3つのことを話しています。「生活リズムを整えること」「自分の気持ちをきちんと伝えること」「人のためになる行動をすること」の3つです。朝会では「自分の気持ち」と「人のため」についての具体的な話をしています。人のために行動することで実は自分の考え方や行動をかえることができること、自分の気持ちをきちんと伝えることで自ら困っていることを解決できたこと、などを話しました。

「生活リズム」については個別に担任や生活指導担当から声をかけさせてもらっています。

懇談後の「作戦会議」 家庭の事情を考えて

個人懇談会が終わりました。懇談会後に遅刻や欠席の多い児童の保護者の方と作戦会議を行いました。ある家庭では「子どもの夢」に向けての生活になっていることで遅刻が多いという話をうかがいました。また別の家庭では習い事でどうしても夜遅くなるために早起きができないという事情があることも教えてもらいました。それぞれの家庭でそれぞれの事情があるので、個別にルールや約束事を決めてもらうようにしています。

子育ての考え方は各家庭で違います。その子どもの特性もそれぞれ違います。だからこそ何を目指して、どんなルールを作るのが大切になってきます。もちろん、子どもとそのルールについて合意をとったり、納得させたりすることも合わせて必要になってきます。

最近、特に、保護者のみなさんが「不安やしんどさ」を抱え込んでしまっているなど感じています。保護者の方の「不安」は子どもの不安へとつながっていることが多いです。こんなことも含めて保護者の方と話ができることが大切だと思っています。

夏休みをよい「きっかけ」にしてほしい

夏休みで生活が乱れることが予想されます。しかたがないと思いますが、できる範囲でリズムをよくしてほしいと願っています。9月1日というと学校に行かなければならないというプレッシャーが過度にかかり、気持ちがしんどくなってしまう子どももいます。

しかし、私は9月1日がよい「きっかけ」になるのではと考えています。

夏休みの始まったところから2学期をどのようにスタートさせようか話し合います。生活リズムを整えること、遅刻をしないこと、宿題や学習をがんばることを話し合いで決めます。そして大人は子どもたちのがんばりをしっかり見守ること、何かあったら協力することを伝えます。この約束は子どもががんばれることを合意のもとに決めることが重要です。例えば、車で送らないと登校しない子どもに対しては「9月からは自分の力で歩いて登校するよ。それはあなたの自立のために必要なことだからね。」と伝えます。夏休み中に歩く練習をいっしょにしても良いかもしれません。夏休みの終わりには、自分から登校するシミュレーションを朝から行っても良いかもしれません。生活リズムの乱れをもとに戻す効果もあります。

またせっかくの夏休みなので「自分と向き合う」時間をとることもおすすめします。ある期間はデジタル断ちをして、静かに過ごす時間を多くします。デジタルが身近にあるとあっという間に何も考えずに時間が流れていきます。今の自分の現状をぼんやり考えながら自分と向き合う時間を取ることで二学期に向けてがんばる意欲がわいてくるかもしれません。